

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務部長

(氏名) 種村 均
 (氏名) 加藤 博

TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	47,369	△10.6	715	△53.5	1,192	△39.5	2,336	△48.7
24年3月期第2四半期	53,014	2.7	1,539	△23.4	1,970	△10.7	4,559	394.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 797百万円 (△80.7%) 24年3月期第2四半期 4,137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	15.95	—
24年3月期第2四半期	32.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	111,778	65,207	57.4	412.49
24年3月期	117,735	68,896	51.5	434.14

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 64,213百万円 24年3月期 60,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	△7.0	1,000	△46.8	2,000	△25.7	2,600	△41.8	17.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) Noritake Porcelana Mfg., Inc.

(注)詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	158,428,497 株	24年3月期	158,428,497 株
25年3月期2Q	2,755,927 株	24年3月期	18,827,051 株
25年3月期2Q	146,488,888 株	24年3月期2Q	139,697,076 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高は473億69百万円(前年同期比10.6%減少)、営業利益は7億15百万円(前年同期比53.5%減少)、経常利益は11億92百万円(前年同期比39.5%減少)、四半期純利益は23億36百万円(前年同期比48.7%減少)となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

主力の研削砥石の売上げは、自動車業界向けは比較的堅調でしたが、鉄鋼、ベアリングなどその他の業界向けは生産調整の影響を受け減少しました。CBN工具は北米向けが、研磨布紙はOEM製品が寄与してそれぞれ売上げが増加しましたが、ダイヤモンド工具は、電子業界向けの不調により売上げが減少しました。その結果、工業機材事業の売上高は183億41百万円(前年同期比1.8%減少)、営業利益は2億62百万円(前年同期比54.7%減少)となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、太陽光発電用、セラミック・コンデンサー用共に大きく減少しました。セラミックスは、触媒担体や casting コアは低調でしたが、車載用厚膜回路基板が伸長しました。蛍光表示管モジュールは、不採算品からの撤退に伴って大幅に減少し、連結子会社である共立マテリアル株式会社も電子部品用原材料が低迷し、売上げが減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は165億3百万円(前年同期比16.1%減少)、営業利益は4億98百万円(前年同期比67.7%減少)となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池電極材料用が顧客の投資一巡の影響を受け、売上げは前年同期を大きく下回りました。濾過装置などの売上げは、工作機械付属用の中国向けが急増したため、前年同期を大きく上回りました。研削機械及び超硬丸鋸切断機は、主需要先の鉄鋼業界の設備投資抑制などにより、売上げは低迷しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は85億42百万円(前年同期比20.7%減少)、営業利益は2億5百万円となりました。

(食器)

国内市場では、春に投入した新製品が順調に伸長したほか、ホテル・レストラン向けも新規顧客開拓により、売上げが増加しました。海外市場では、北米の百貨店向けが増加したものの、欧州やアジアがエアライン向けの不調もあって前年同期を下回りました。その結果、食器事業の売上高は39億80百万円(前年同期比2.6%増加)、2億50百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したことに加え、保有株式の株価下落に伴い投資有価証券の時価総額が減少したことから、前連結会計年度末に比べ59億57百万円減少し、1,117億78百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が減少したことから、前連結会計年度末に比べ22億68百万円減少し、465億70百万円となりました。

純資産は、株式交換により自己株式が減少したものの、少数株主持分及びその他有価証券評価差額金並びに利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ36億88百万円減少し、652億7百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ38億10百万円減少し、100億2百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは33億60百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ21億90百万円減少し、2億80百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産除売却損益が25億93百万円の利益から6億46百万円の損失に転じたこと及び減損損失を13億59百万円計上したものの、負ののれん発生益を39億51百万円計上したこと及び税金等調整前四半期純利益が26億57百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は2億6百万円でありましたが、当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は36億41百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の売却による収入が32億40百万円減少したことに加え、有形及び無形固定資産の取得による支出が9億98百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ1億72百万円増加し、6億5百万円となりました。これは主に配当金の支払額が2億9百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の見通しにつきましては、欧米経済の停滞に加え、長引く円高や外交問題の影響等により、先行きは極めて不透明であります。当社グループといたしましては、成長市場である新エネルギー関連の新製品・新技術の開発と拡販に邁進するとともに、価格競争力を備えた海外生産拠点の構築を図りつつ、新興国をはじめ海外市場への展開をより一層積極的に推進し、業績の回復と成長性の確保に努めてまいります。

なお、連結業績予想は平成24年9月28日発表の見通しを変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、Noritake Porcelana Mfg., Inc. は清算終了したため、連結の範囲より除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,447	13,145
受取手形及び売掛金	30,410	29,069
商品及び製品	5,988	6,303
仕掛品	4,656	4,518
原材料及び貯蔵品	4,202	4,110
その他	2,378	1,661
貸倒引当金	△235	△31
流動資産合計	63,848	58,777
固定資産		
有形固定資産	30,133	31,103
無形固定資産	592	547
投資その他の資産		
投資有価証券	20,047	17,902
その他	3,228	3,560
貸倒引当金	△115	△112
投資その他の資産合計	23,160	21,350
固定資産合計	53,886	53,001
資産合計	117,735	111,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,346	13,552
短期借入金	1,634	1,623
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000
未払法人税等	536	428
賞与引当金	1,486	1,445
設備関係支払手形	1,134	1,691
その他	3,416	4,477
流動負債合計	24,555	26,219
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,200	7,200
退職給付引当金	1,192	1,162
その他の引当金	807	729
その他	2,083	1,260
固定負債合計	24,283	20,351
負債合計	48,838	46,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	36,815	35,501
自己株式	△7,633	△1,116
株主資本合計	63,646	68,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	1,312
為替換算調整勘定	△5,929	△5,949
その他の包括利益累計額合計	△3,039	△4,637
少数株主持分	8,289	994
純資産合計	68,896	65,207
負債純資産合計	117,735	111,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	53,014	47,369
売上原価	40,296	35,871
売上総利益	12,717	11,498
販売費及び一般管理費		
販売費	8,044	7,644
一般管理費	3,133	3,138
販売費及び一般管理費合計	11,178	10,782
営業利益	1,539	715
営業外収益		
受取利息	21	25
受取配当金	168	175
受取賃貸料	162	149
持分法による投資利益	220	152
その他	45	143
営業外収益合計	618	646
営業外費用		
支払利息	79	74
為替差損	61	33
固定資産賃貸費用	17	40
その他	29	20
営業外費用合計	188	169
経常利益	1,970	1,192
特別利益		
固定資産売却益	2,797	0
持分変動利益	989	—
負ののれん発生益	—	3,951
その他	36	—
特別利益合計	3,824	3,952
特別損失		
固定資産処分損	203	647
減損損失	—	1,359
投資有価証券評価損	30	66
関係会社整理損	—	169
特別損失合計	234	2,242
税金等調整前四半期純利益	5,559	2,901
法人税、住民税及び事業税	556	443
法人税等調整額	136	24
法人税等合計	692	468
少数株主損益調整前四半期純利益	4,866	2,433
少数株主利益	306	96
四半期純利益	4,559	2,336

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,866	2,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△734	△1,626
為替換算調整勘定	13	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	19
その他の包括利益合計	△729	△1,636
四半期包括利益	4,137	797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,906	739
少数株主に係る四半期包括利益	230	57

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,559	2,901
減価償却費	1,636	1,555
減損損失	—	1,359
負ののれん発生益	—	△3,951
持分変動損益(△は益)	△989	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	△43
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△96	△23
その他の引当金の増減額(△は減少)	△5	△78
受取利息及び受取配当金	△190	△200
支払利息	79	74
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	30	66
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△2,593	646
売上債権の増減額(△は増加)	1,177	1,505
たな卸資産の増減額(△は増加)	192	△8
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,553	△2,933
その他	627	△298
小計	2,892	572
利息及び配当金の受取額	199	209
利息の支払額	△74	△74
法人税等の支払額	△546	△426
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,471	280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,700	△2,698
有形及び無形固定資産の売却による収入	3,261	20
投資有価証券の取得による支出	△255	△7
貸付けによる支出	△5	△235
貸付金の回収による収入	5	269
子会社株式の取得による支出	△700	△289
定期預金の預入による支出	△475	△1,398
定期預金の払戻による収入	263	920
その他	△186	△222
投資活動によるキャッシュ・フロー	206	△3,641
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35	△8
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△349	△558
その他	△45	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432	△605
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,250	△3,919
現金及び現金同等物の期首残高	15,764	13,812
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	109
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,015	10,002

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月21日開催の取締役会決議に基づき、平成24年8月1日に共立マテリアル株式会社を完全子会社とする株式交換を行い、自己株式を16,078千株交付しております。その結果、利益剰余金が3,174百万円、自己株式が6,518百万円減少しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	18,686	19,668	10,778	3,881	53,014
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	578	1,543	△211	△370	1,539

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	18,341	16,503	8,542	3,980	47,369
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	262	498	205	△250	715

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計		
減損損失	296	59	22	-	378	981	1,359

(注) 本社工場の三好事業所等への移転及び営業拠点の移転に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

(重要な負ののれん発生益)

「セラミック・マテリアル」セグメントにおいて、株式交換に伴い負ののれん発生益を3,951百万円計上しております。

【ご参考】 平成25年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期業績（連結）の概要

①当第2四半期決算のポイント

【業績】

売上高 474億円（前年同期比△10.6%）、営業利益 7億円（前年同期比△53.5%）、
経常利益 12億円、第2四半期純利益 23億円。

*売上高は減少。営業利益、経常利益ともに減益。

【連結の範囲】

連結会社 20社（1社増加、1社減少） 持分法適用会社 4社（増減なし）

* 連結会社の増加は、則武（上海）貿易有限公司の新規連結によるもの。

* 連結会社の減少は、Noritake Porcelana Mfg., Inc. の清算終了に伴う連結除外によるもの。

【為替の影響】

2.0円の円高（前期 81.8円→当期 79.8円）により、売上高2.4億円、経常利益1.7億円減少。

【特別損益】

特別利益 39.5億円： 負ののれん発生益（共立マテリアルの完全子会社化）39.5億円。

特別損失 22.4億円： 本社工場の移転12.0億円、北九州営業所の移転7.6億円など。

【中間配当金】

中間配当4.0円/株（前期中間4.0円/株、前期期末4.0円/株）

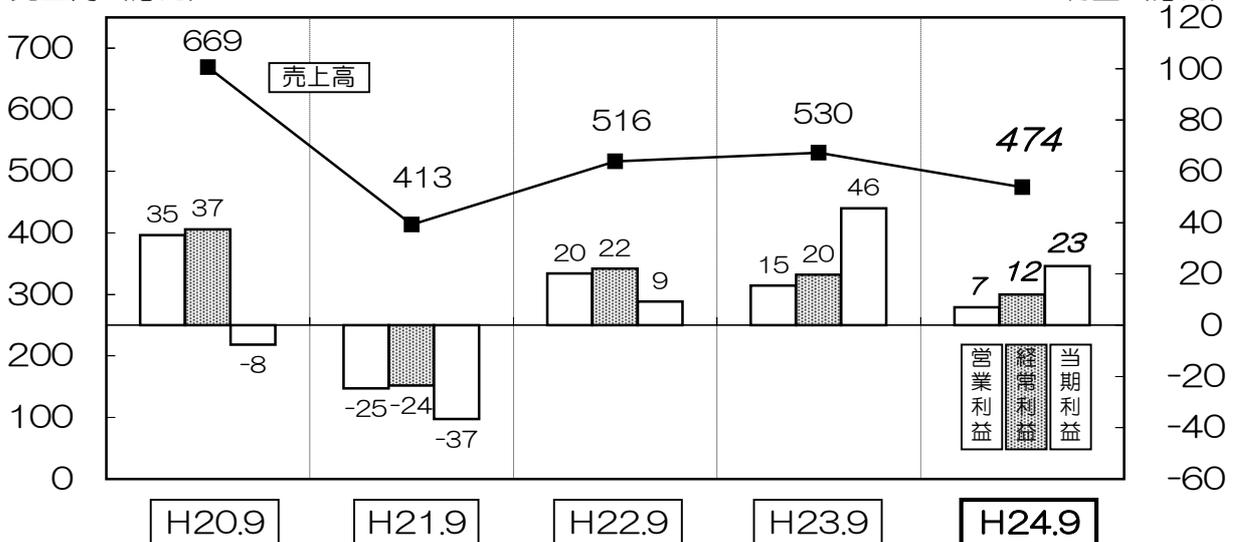
②期別業績推移

(単位：億円 四捨五入)

	H20.9		H21.9		H22.9		H23.9		H24.9	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	669	+1.2%	413	△38.2%	516	+24.9%	530	+2.7%	474	△10.6%
営業利益	35	△30.9%	△25	-	20	-	15	△23.4%	7	△53.5%
経常利益	37	△29.9%	△24	-	22	-	20	△10.7%	12	△39.5%
特別損益	△28	-	△10	-	△4	-	36	-	17	-
税前提利益	9	△82.8%	△33	-	18	-	56	+211.3%	29	△47.8%
当期利益	△8	-	△37	-	9	-	46	+394.7%	23	△48.7%
US\$為替	104.6円		96.0円		91.0円		81.8円		79.8円	

売上高（億円）

利益（億円）



③人員数

(単位：人)

	前期末 (H24.3)			当第2四半期末 (H24.9)			前期比
	正規	非正規	合計	正規	非正規	合計	
単 独	1,900	625	2,525	1,930	643	2,573	48
国内グループ	863	241	1,104	853	240	1,093	△ 11
海外グループ	1,260	241	1,501	1,339	230	1,569	68
合 計	4,023	1,107	5,130	4,122	1,113	5,235	105

(注) 正規、非正規ともに期末人員数。非正規には、パート及び嘱託のほか、派遣社員も含まれている。

④設備投資

(単位：億円)

	前年同期 (H23.9)		当第2四半期 (H24.9)	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工 業 機 材	8	7	17	7
セラミック・マテリアル	6	5	7	5
エソク・ニアソク*	1	1	1	1
食 器	2	1	1	1
管 理 部 門	5	2	13	2
合 計	22	16	39	16

(注) 当期における主な実施案件： 本社工場移転 10億円、三好事業所インフラ整備 6億円
研究開発棟新設 5億円、タイ石膏工場増設 3億円

⑤経常利益の増減要因

<p>H23年9月期 経常利益 20億円</p>  <p>H24年9月期 経常利益 12億円</p>	<p>増加要因 5 億円</p> <p>合理化・改善の効果 1 億円</p> <p>一般管理費・販売費の減少 4 億円</p> <hr/> <p>減少要因 13 億円</p> <p>売上高の減少 9 億円</p> <p>為替の影響 2 億円</p> <p>原材料価格の上昇 2 億円</p>
---	---

⑥特別損益

・ 特別利益		39.5 億円
負ののれん発生益 (共立マテリアルの完全子会社化)		39.5 億円
・ 特別損失		22.4 億円
固定資産処分損 (本社工場・北九州営業所移転ほか)		6.4 億円
固定資産減損損失 (本社工場・北九州営業所移転)		13.6 億円
関係会社整理損		1.7 億円
投資有価証券評価損		0.7 億円

⑦セグメント別業績

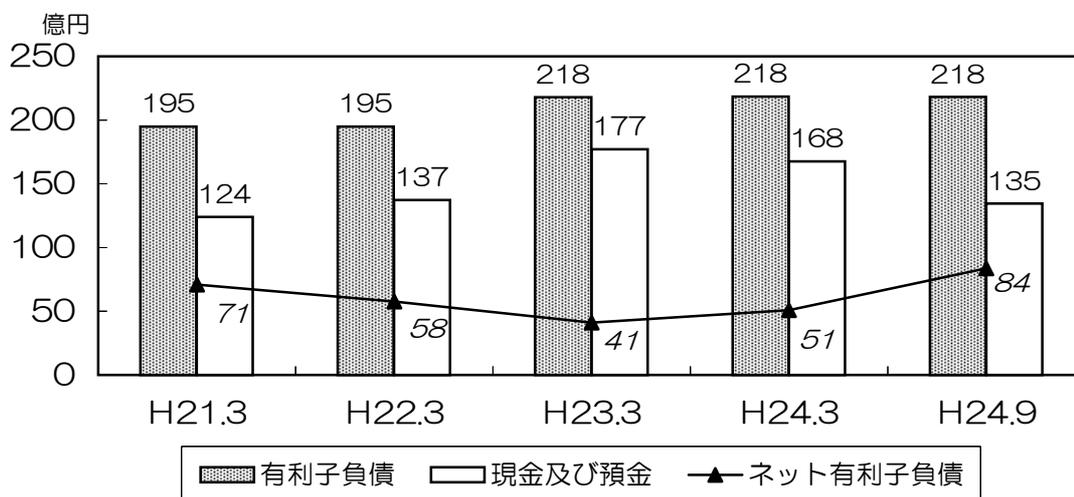
(単位：億円)

セグメント	前年同期 (H23.9)				当第2四半期 (H24.9)				
	売上高		営業利益		売上高			営業利益	
	金額	構成比(%)	金額	利益率	金額	前期比	構成比(%)	金額	利益率
工業機材	187	36	5.8	3.1%	183	△1.8%	39	2.6	1.4%
セラミック・マテリアル	197	37	15.4	7.8%	165	△16.1%	35	5.0	3.0%
エレクトロニクス	108	20	△2.1	△2.0%	85	△20.7%	18	2.1	2.4%
食器	39	7	△3.7	△9.5%	40	+2.6%	8	△2.5	△6.3%
合計	530	100	15.4	2.9%	474	△10.6%	100	7.2	1.5%

⑧有利子負債

(単位：億円)

	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H24.9
有利子負債	195	195	218	218	218
現金及び預金	124	137	177	168	135
ネット有利子負債	71	58	41	51	84



2. 業績予想（連結）の概要

①重点施策

- 1) 新エネルギー分野関連の新製品開発・拡販
 - ・太陽電池向け電極ペーストの印刷製法を含む差別化技術の確立
 - ・リチウムイオン電池投資一巡のため、新分野向け新製品開発
 - ・ダイヤモンドワイヤーの改良・拡販
- 2) 海外生産拠点の構築
 - タイ 石膏工場（平成24年6月）
 - 米国 CBN砥石工場（平成24年10月）
 - タイ ダイヤモンド工具工場（平成24年10月）
 - 中国 砥石工場（平成24年12月予定）
- 3) 本社工場の三好事業所への移転

【設備投資金額】

設備投資 70億円 (H24年3月期実績 48億円)
 減価償却費 42億円 (H24年3月期実績 35億円)
 主要な設備投資案件： 本社工場移転 20億円、三好事業所インフラ整備 10億円
 合理化 25億円、保守等 15億円

②業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	H24年3月期			H25年3月期（予想）				
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	通期増減	増減率
売上高	530	491	1,022	474	476	950	△72	△7.0%
営業利益	15	3	19	7	3	10	△9	△46.8%
経常利益	20	7	27	12	8	20	△7	△25.7%
特別損益	36	△3	33	17	△2	15	△18	—
税前利益	56	4	60	29	6	35	△25	△41.3%
当期純利益	46	△1	45	23	3	26	△19	△41.8%
US\$為替	79.6円			80.0円			0.4円の円安	

③経常利益の増減要因（予想）

H24年3月期 経常利益 27億円  H25年3月期 経常利益 20億円	増加要因 11億円 合理化・改善の効果 3億円 一般管理費・販売費の減少 8億円 減少要因 18億円 売上高の減少 10億円 為替の影響 3億円 原材料価格の上昇 3億円 工場移転費用 2億円
---	---

④セグメント別業績予想

(単位：億円)

セグメント	H24年3月期				H25年3月期（予想）				
	売上高		営業利益		売上高			営業利益	
	金額	構成比(%)	金額	利益率	金額	前期比	構成比(%)	金額	利益率
工業機材	372	36	9.0	2.4%	380	+2.2%	40	5.0	1.2%
セラミック・マテリアル	355	35	19.1	5.4%	325	△7.0%	35	10.0	3.0%
エッセミアリソク	215	21	△2.7	△1.2%	160	△25.5%	17	0.0	0.2%
食器	80	8	△6.7	△8.3%	85	△0.2%	8	△5.0	△6.3%
合計	1,022	100	18.8	1.8%	950	△7.0%	100	10.0	1.1%

以上